

平成9年度 病害虫発生予察注意報 第3号

病害虫名：トマト黄化えそウイルス（TSWV）による病害
対象作物：野菜・花き類

1. 注意報の内容

- (1)対象地域 都下全域
- (2)作物名 野菜及び花き類

2. 注意報発令の根拠

- (1)1997年10月、小平市において、ダリアにトマト黄化えそウイルスによる「輪紋病」に酷似する症状を認めた。被害葉は中位葉から上位葉にかけてやや小型化し、軽いモザイク症状を生じるとともに、葉の表面に周囲明瞭な黄色輪紋が形成されていた。
 - (2)発症株について、ELISA法により病原ウイルスの検定を実施した結果、トマト黄化えそウイルス－普通系（TSWV－O）が検出された。
 - (3)本ウイルスは宿主範囲がきわめて広く、650種以上の植物に感染することが報告されている。
 - (4)TSWVを媒介するアザミウマ類（ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、ネギアザミウマ、チャノキイロアザミウマ等）は都下全域に広く分布しており、特にミカンキイロアザミウマの発生分布が拡大している。
 - (5)最近、東京都の近県（茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、栃木県、静岡県）より、相次いで本ウイルスによる野菜・花き類の被害が報告されている。
- 以上から、東京都においても本ウイルスによる病害の発生に注意する必要がある。

3. 防除対策

- (1)アザミウマ類の防除を徹底する。アザミウマ類は種によって薬剤感受性が異なるので、防除の際には発生している種類を確認する。
 - (2)圃場周辺ではダリア等TSWVの伝染源となる植物を植栽しない（表1参考）。また、本ウイルスは広範な雑草に感染しているので、圃場内外の除草を徹底する。
 - (3)発病株はただちに抜き取り、焼却処分する。
- *なお、アザミウマ類の種類が不明な場合や、TSWVに感染している疑いがある場合には、病害虫防除所、各農業改良普及センターへ連絡して下さい。

表1 T S W Vによる病害および感染が確認されている主要農作物*

科 名	農 作 物 名 (病 名)
アカザ科	ハウレンソウ
ウリ科	キュウリ (ウイルス病)、スイカ (灰白色斑紋病)
キク科	レタス (黄化えそ病)、キク (えそ病)、ガーベラ (えそ輪紋病) ダリア (輪紋病)、キンセンカ、ヒャクニチソウ
マメ科	ラッカセイ (ウイルス病)、ソラマメ、ササゲ、アズキ
ゴマ科	ゴマ
ナス科	トマト (黄化えそ病)、トウガラシ・ピーマン (黄化えそ病) ペチュニア、タバコ (黄化えそ病)
ユリ科	ネギ (ウイルス病)
リンドウ科	トルコギキョウ

*日本有用植物病名目録および各県の病害虫発生予察特殊報から抜粋